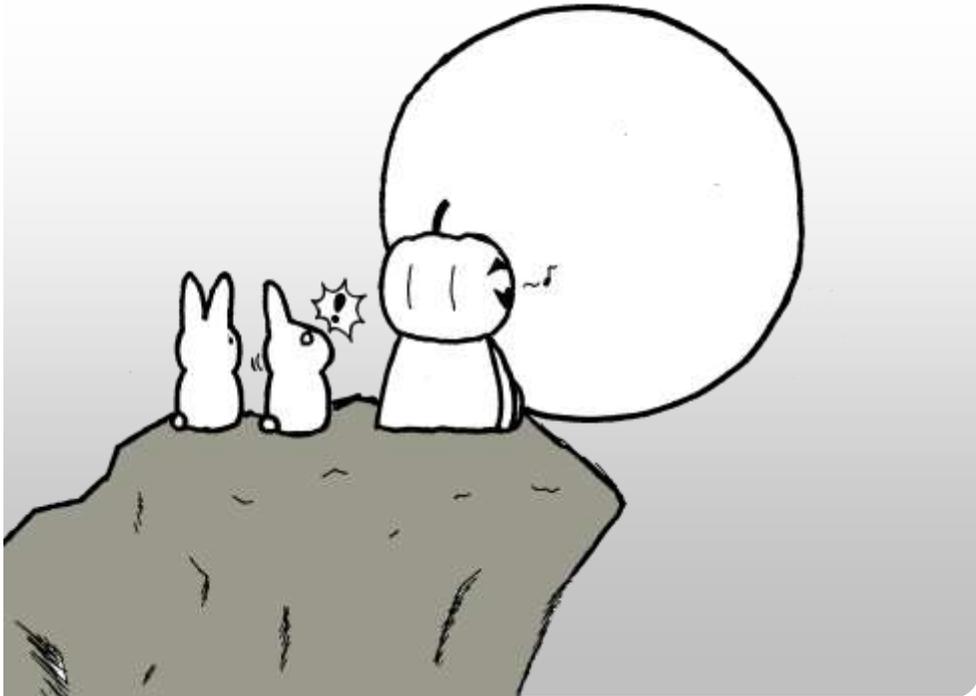


CILとちぎ通信

第17号 平成26年9月30日発行



- | | | | |
|-----------------------------|---|--------------------|----|
| ・第30回DP I 日本会議
全国集會に参加して | 2 | ・うつのみや花火大会 | 7 |
| ・バーベキュー | 4 | ・沖縄旅行 (旅行編) | 8 |
| ・バーベキューの思い出 | 5 | ・バリアフリーに
リニューアル | 10 |
| ・実習を振り返って | 6 | ・みっちゃんの北海道旅行 | 11 |

特定非営利活動法人 自立生活センターとちぎ

〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア 103

電話・FAX : 028-638-2538 E-mail : ciltochigi@silver.plala.or.jp

URL: <http://www11.plala.or.jp/ciltochigi/index.htm>

第30回DPI日本会議全国集会に参加して

さいとうやす お
齋藤康雄

平成26年6月14日、15日に第30回DPI日本会議全国集会在静岡で行われた。全国から300名を超える参加者がお越しになりました。

初日は、2014年度総会において、三澤了議長がお亡くなりになり、平野みどり氏が新しい議長に選出され、また、尾上浩二事務局長が、東俊裕氏の後に内閣府に入ることになり、佐藤聡氏が新事務局長になることになりました。議事では、1年間の取り組み、来年度の取り組みについて、震災、障害者権利条約、総合福祉法、雇用・労働、所得保障、女性障害者など幅広い問題について報告が詳しくありました。



二日目は、第1部「DPI世界会議北東アジア小ブロック会議報告」、第2部「障害者権利条約について」山中修外務省総合外交

政策局人権人道課長による講演がありました。

午後の分科会では、地域生活、交通・まちづくり、権利擁護、教育、雇用・就労と生命倫理・優生思想、女性障害者という課題のテーマごとに分科会が行われた。

教育分科会では、掛川市で障害をもつお子さんの母親の佐野富江さんより、「教育と合理的配慮について～笑顔で春を迎えて～というテーマで発表された。

1歳のときに、運動面の発達の遅れを指摘され、2歳のとき、病気の診断を受けました。家族としては、悩み苦しみました。しかし、全てを受け入れ娘と幸せに「過ごそう・過ごすためには」と考えるようになりました。3歳のときに、1歳半から通っていた保育園から、歩けない、立てないを理由に、別の保育園へ転園して欲しいという要望を受け、別の保育園に行くことになりました。小学校入学に向けては、教育員会から9

ねんかんつ そ ほ せつび とどの しな い しょうがっこう にゆうがく
年間付き添って欲しい。設備の整っていない市内の小学校への入学は
むり よさん お う い むすか しえんいん かくほ せきにんもんだい
無理、予算が下りなければ受け入れは難しい、支援員の確保・責任問題が
はっせい にゆうがく おも つよ つた き
発生する…など、入学させたくないとの思いが強く伝わって来た。

しかし、主治医、PT、OT、療育の先生、大学の先生などの協力を
え たら きぼう がっこう
得たら、希望の学校へ
の入学が許可された。
ちから かた ひとこと
力がある方の一言で
こんなに変わるんだな
とおも
思った。



げんざい しょうがく ねんせい
現在は、小学2年生
で、出来ないからやら

ない、見ているだけではなく、少しでも出来ることを探す、工夫をして出来る
ようにして下さる先生がいて、元気に学校に通っています。

かんごし ゆめ じりつ 看護師への夢(自立)

わたし くるまいす ちから おお こと こころ
私は車椅子だから力がありません。大きな事もできません。でも…心
の看護婦さんになりたい。車椅子の私だからこそ感じられる優しさをみな
さんに届けたい。

さいご ははおや ごうりてきはいりょ しょうがいしゃひとりひとり ひつよう かんが
最後に、母親から、合理的配慮(障害者一人一人の必要を考えて、その
じょうきょう おう へんこう ちょうせい かね ろうりよく ふたん
状況に応じた変更や調整などをお金や労力などの負担がかかりすぎない
はんい おこな きょういく よ そ きも たいせつ
い範囲で行うこと)、インクルーシブ教育は、「寄り添う気持ち」が大切で
はないでしょうかという ^{はっぴょう}発表がありました。

いちきれいこつくばぎじゅつだいがくじゅんきょうじゅ きょういく
一木玲子筑波技術大学准教授からは、カナダのインクルーシブ教育に
ついて発言があり、カナダは、移民の国であり多様性の尊重の国である。
しょうがい ひと な ひと いっしょ きょういく しえんがっこう
障害のある人も無い人も、みんな一緒に教育しているので、支援学校も
ない、支援学級もない。よって普通学校という呼び名もない。

にほん がっこう しえんいん もんだい う い きも
日本の学校では、支援員をつけるという問題ではない。受け入れる気持ち
があれば、なんでも出来る。そういうのが合理的配慮ではないか。また、
イタリアの支援員は、離れての支援がなされている。子どもたちの関係を作る
しえんいん やくわり
のが支援員の役割になる。

この分科会に参加して、学校側がまず、障害のある方を受け入れてみよう、そして問題があったら、どのようにして行ったら、その課題が解決できるのかを考えればなんでも出来る様に思われた。また、それが合理的配慮なんだろうと思う。



楠敏夫氏 と 三澤了氏

バーベキュー

ながたげんじ
永田元司



今年は例年よりも少し早い9月13日に、自立生活センターとちぎのバーベキューが、いつものみずほの自然の森公園で行われました。毎回来てくれる方に加え、今年初めて参加してくれる方もいて交流の輪が広がっていくのは嬉しいものです。

いつもはバーベキューの炉を2基借りるのですが、今年は1基しか借りられず、窮屈になってしまいかと心配しましたが、逆にまとまりがあって良かったかもしれません。

天気にも恵まれ楽しい雰囲気の中、肉や焼きそばはどれもおいしかったです。中でも偶々できあがってしまった厚切りベーコンのホットドッグが私には一番おいしかったです。挑戦2年目の燻製もますますの出来でした。

いろいろな方と交流できるバーベキューはスタッフも楽しみにしています。参加してくれました。みなさま、本当にありがとうございました。そして、ゲームで活躍してくれたひなちゃん、どうもありがとうございます、お疲れ様でした。



バーベキューの思い出

前日、私はバーベキューの準備をしていました。でも、持っていく荷物
竹内ひな
の準備ではなく、バーベキューでやるゲームの準備をしていたのです。

そもそも、私がバーベキューのゲーム係になったきっかけは、8月のある日ヘルパーさんとお出かけに行ったとき、その車の中で「何かいいゲームの案ありますか？」と聞かれ、「ばくだんゲームはどうですか？」と言って企画書を出したら、なんとそのまま採用されちゃいました！

では早速準備！…と行きたいところですが、夏休みが明けたらすぐ期末テスト！ということで、それが終わってから準備することに。そして、テストが終わって、解放された次の日に打ち合わせをしました。そこではまずルール説明をしました。ざっくり説明をしますと、円を描くように並びタイマーをセットし、くじ引きで出たお題の答えを言いながら、制限時間内にボールを隣の人に回していきます。タイマーが鳴ったときにボールを持っていた人が負けです。（たとえば、野菜とお題が出たときには、キュウリなどと言っていきます。）ルールを説明した後、相談し合いながら決めたので、いろいろなことが次々に決まっていたのでよかったです。

そして、いよいよ当日！私の初めの乾杯の言葉でスタート！お肉を私の友達と食べてもうおなかいっぱいのところゲームスタート！ゲーム説明を緊張しながらやったあと、ゲームを始めました。私もゲームに参加しました。みんなワクワク、ドキドキしながら楽しんでくれてよかったです。（安心）結果は、1位Eチーム、2位Dチーム、3位Bチーム（私の

チーム)となり、このチームの人たちには、景品と順位が書かれたシールが渡されました。ちなみに私は、シリコンスチーマーをもらい、それで次の日に早速蒸しパンをつくりました。おいしかったです。便利なものをいただきました。特に、参加した方やスタッフさん達からは、王冠の形を



ていて裏に両面テープを貼った順位シール(私の手作りの評判がよくて本当に良かったです。計画をし始めたときには「このゲーム室内でやるゲームなんだけど、外でやって盛り上がるかなあ…」とおもったときがありましたが、みんなが楽しく遊べるゲームになってうれしかったです。

バーベキューの感想 岡本さん

前回参加させていただいた時は残念ながら雨だったので、今回は初めての外でのバーベキュー参加となりました。清々しいお天気だったのでとても快適に過ごせたように思います。普段あまり外出できないので良い気分転換になりました。

ゲームでスポーツの秋(少なくとも脳みそだけはスポーツしてました(笑))を感じ、お肉をほおぼりながら食欲の秋を満ちし、そして土の上にごんごんを見つけて小さな秋を発見し、秋の醍醐味を満喫した一日でした。

実習を振り返って…

こくさいいりょうふくしだいがくいりょうふくし 国際医療福祉大学医療福祉マネジメント学科4年
いけだのぞみ 池田望美

私は、社会福祉士という資格を取るために、6月末から9月にかけて自立生活センターとちぎで実習させていただきました。

この実習で私は、たくさんの方とお話しさせていただきました。色々な方とお話をして、今まで知らなかったことを教えていただき、驚いたり、

感心したり、教科書では知れないような事を知ることができました。そして、たくさんの事を吸収することができました。

また、7月に行われた手芸教室と9月に行われたバーベキュー大会にも参加させていただき、楽しい一日を過ごすことができました。

最後に、ご指導くださいました職員のみなさま、あたたかく受け入れてくださいました利用者、関係者のみなさま、約4か月間ありがとうございました。こちらでの経験が、これから出会うであろう方々の支援に役立てられるようがんばっていきたいと思います。本当にありがとうございました。

うつのみや花火大会

箱石充子

「100年続けよう。宇都宮の花火」というタイトルで実行委員会が作られ、今年で8年目を迎えました。その前は、あるにはあったけど不景気が重なり花火はなくなってしまったのです。花火が大好きな私にとっては非常につまらない夏が続いていました。なんといっても夏は花火のボーンって音と共に夜空に大輪の光と豪華な花を咲かせる花火大会です。

その花火大会がまた見られるようになったので去年は申し込みに遅れたため、私は見られなかったはずだったのですが私の仕事仲間(自立生活センターとちぎ)が行きたいなら自分のチケットをあげるから行って見てきてくださいと言ってくれてチケットをくれたので嬉しくて頂きまーす！やったー！と叫んでしまいました。去年は大雨のため次の日になりましたが予定通り花火があがりました。

さて、今年8月9日が花火大会の日でした。今年こそ早々と申し込みをしようと思っていたのですが、またまた遅れてしまいました。仲間に「申し込みをしましたか？」と言われ「えっ、申し込むんですか？……」「もう大分遅くなってしまったけど今ならまだ間に合うと思いますよ！」と仲間の二人に励まされて申し込みました。たくさん申し込みがあった場合は抽選で決めるという事なので私は本当にハラハラ、ドキドキでした。なぜかという私はいくらも弱くて今まで当たったことがないのです。

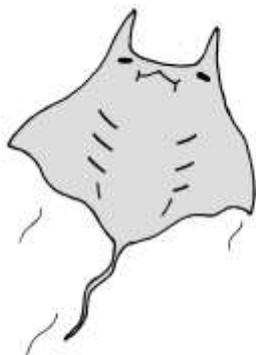
8月になってもチケットは疎か、何も連絡がありません。抽選に漏れたかとガッカリしていました。4日か5日前に郵便受けを見たら来ていました。開けてみたらチケット2枚が入っていました。やったー！また今年も花火が見られる！

仲間の一人が車で乗せて行ってくれました。相変わらず、物凄い見物客でした。駐車場も花火があがる場所もよく整備されていて私たち障害者には本当にありがたい心遣いがなされています。実行委員会の方々に本当に感謝しました。そして、仲間にも。今年は雨も降らず寒い夜の涼しい夜。花火大会には最高の日、晩でした。多くのボランティアの方と実行委員会の方に本当に感謝しつつ帰ってきました。

沖縄旅行 旅行編(前)

おかもとみ お
岡本未和

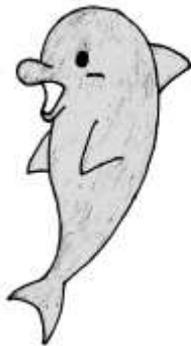
旅行1日目は移動日だったので那覇空港からホテルへ、到着したのは18:00過ぎでした。ホテルは事前に調べたので知ってはいたけれど、マンション風の建物で外廊下です。エントランス以外は余りホテルって感じではないけれど、滞在体験みたいで肩肘張らずに過ごせそうだと感じました。徒歩2分の所に大型スーパーマーケットがあり、材料を買ってくれば部屋のキッチンで食事が作れます。このスーパーマーケットには後に一週間何かしら通うことになります(笑) 予定では2日目は休息日にと考えていましたが、3日目の天気が雨ということで急遽予定を変更することになり、とにかく体を休めようということで早めに床に就きました。



2日目は古宇利大橋→友人おすすめの沖縄そばの店→美ら海水族館です。古宇利大橋は沖縄本部半島近くの古宇利島と屋我地島を結ぶ2kmの海上道路です。海の上を一直線に走ることができます。海上道路は駐停車禁止ですが道路手前と奥に駐車場があり、車を止めて歩道を進めるので散歩することもできます。天気が良い日は左右に広がる海が真っ青に輝くようです。

残念ながら行った日は薄曇り…でも、雲の切れ目から陽が少し射し込んだ
時は海がエメラルドグリーンになるのが見られました。

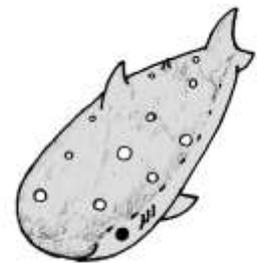
沖縄そばの店での昼食を終え、美ら海水族館へ… 熱帯魚を見てから、
いよいよお目当てのジンベエザメの水槽へゆっくりスロープを下って行き
ます。水槽の前でジンベエザメと写真をとっていると、何か良く撮れな
い…そうなのです!! ジンベエザメは水槽の上の方をゆったり泳ぐので、
水槽の前で写真を撮るとお腹の方しか映らないのです…マンタは水槽の下
まで降りてくるのでジンベエザメのお腹とマンタと一緒に写真を撮りまし
た(笑) サメの標本や珊瑚の標本、マナティーそして 18:00~のイルカ



のショーを見て半日満喫しました。沖縄は日の入り
の時間が遅いので 4月の 18:00 とは言えとても明
るいです。イルカのショーの会場からは駐車場ま
では距離がありますが、会場の親切なスタッフが
巡回車の手配をしてくれて駐車場までスムーズ
に移動できました。

3日目は休日です。お天気も雨だったので調度
良い日になりました。スーパーへ夕食の食材を探
しに行くと地元民でないのがすぐにわかってしまう
のか、スーパーのおば様が色々アドバイスをくれます。曰く「ジーマミー
豆腐のお勧めはこれだよ!!これに決まりだよ!」とか「島豆腐は袋買いが良
いよ。ちゃんと温かいのを選んだかい?」(お豆腐は本当に温かいまま売
っているので驚きました。)
「グルクン(から揚げにすると美味しい魚)は
もう食べたのかい?」おば様お勧めのものをすべては食べられないので、
ゆし豆腐(おぼろ豆腐の様な豆腐)と島豆腐を選び豆腐三味の夕食となり
ました。

4日目はゆっくり起きだして、“やちむん”という
沖縄の焼き物の里に行きました。のんびりとしたの
どかな所です。里の中は坂道ですが車椅子でも何と
か移動でき(あくまで何とかですが…)、車でも移動
できます。真っ青な空と登り窯の赤茶色と白がとて
も映えていました。色々なかまもとみせ、
さんねんみせ、なか



バリアフリーとはいきませんでした。一番大きな共同販売センターはお休みだったのですが、そのセンターなら入れたのかな？

それから景勝地として有名な万座毛にいきました。歩道は石畳でボコボコしていますが、車椅子で歩道を進むことができました。象の鼻と呼ばれる崖があり本当に象の横顔のように見えます。次の中村家住宅では沖縄の地主さんの古民家というものを見学…ここも車椅子では中まで見ることは難しいと感じましたが、近くに老人ホームがあるらしく車椅子を押してもらいながら中村家住宅の塀に沿ってお散歩するおじいさん、おばあさんの姿を何人かみました。とても静かで、鯉のいる池もあり、さやさやと風の吹く道は確かに散歩にはとても良い場所だと感じました。

メインの観光スポットから少し外れた場所を訪れたせいか、本当に沖縄は時間がゆったり流れていると感じた一日でした。
続く…

バリアフリーにリニューアル

おおよまのりこ
大山智子

一年ぶりにブレックスアリーナ宇都宮（体育館）
に行き来ました。もちろんプロバスケットボール
チームのリンク栃木ブレックスの応援で、これが生
きがいのひとつにもなりつつあります（笑）

ファンとしても思い出の深い体育館で 5年前の
優勝時に決勝進出をブザービートで決めた場所
でもあり、あの3.11では選手たちが翌日に控えた
試合前練習をしていて震災にあいました。

震災後に冷暖房設備が調いましたが、今回の
大規模改修工事では耐震補強の他待望のエレベ
ーターが新設され、2階に車イス用観覧席（¥2100付添人1名無料）も出来
ました！

旧体育館もスロープが付いていたり、多機能トイレがあったりと不便
ではなかったのですが、2階にしかない飲食ブースに行けると試合を上
から見渡せる開放感気分も良いです。照明も水銀灯からLEDに変わり、
レーシックした目に反射がなくよく見え優しい気がします。



こけら^お落としの^{しあいび}試合日は、「宇都宮^{うつのみやゆかい}愉快デー」で始球式^{しきゅうしき}に佐藤市長^{さとうしちょう}が tip-off。これからもブレックスのために^{ぜんりょく}全力バックアップをしますと^い言
っておりました。ブレックスでが
っちり！経済効果^{けいざいこうか}で宇都宮^{うつのみや}におと
してもらいましょう（笑）

祝^{しゅく} ☆エレベーター！

ありがとうございます

街中^{まちじゅう}にもっとバリアフリーな^{ばしよ}場所^{ばしよ}がふえていきますように！



みっちゃんの北海道旅行！！ その4

今日^{きょう}はとうとう帰^{かえ}る日^ひになってしまいました。朝ごはん^{あさ}を食べ^たに食堂^{しょくどう}へ。またまた豪華^{ごうか}な朝ごはん^{あさ}でした。バイキングで取り^と合わせ^あせてくれましたが、みっちゃんは見る^みだけでお腹^{なか}が一杯^{いっぱい}になってしまって、みんなの^みを見てすごいなあと小さい目^めをパチクリとさせて見張^{みは}るばかりでした。でも、野菜^{やさい}サラダ^{らだ}と果物^{くだもの}とヨーグルト^{ぎゅうにゅう}と牛乳^{あいか}とコーヒー^なは相変^なわらずお腹^{なか}いっぱい食^たべて満足^{まんぞく}でした。みんなはいくらとか生^{なま}ハムとか栃木^{とちぎ}では食^たべられないからと美味^{おい}しそうに食^たべていました。玉葱^{たまねぎ}とアスパラの最盛^{さいせい}期^きだったので毎日^{まいにち}食^たべても呆^{あき}れずに三日間^{みっかかん}もりもり食^たべました。あんなアスパラまた食^たべたいなあー。

帰^{かえ}り支^{したく}度^{たく}をして空^{くう}港^{こう}まで名残^{なごり}惜^おしみながらゆっくりと車^{くるま}を走^{はし}らせました。もちろんドライバー^{どちゆう}はみっちゃんではありませんが、途^と中^{ちゆう}ラベンダー^らがたくさん咲^さいている畑^{はたけ}を見^みつけました。みんなでうわー！！と思^{おも}わず声^{こえ}が^でてしまいました。

空^{くう}港^{こう}へ着^ついて飛^ひ行^{こう}機^きに乗^のるまでの間^{あいだ}、時^じ間^{かん}がちょっとあつたので、お土^み産^{やげ}屋^やさん^のを覗^{のぞ}きながら歩^{ある}いてみました。北^{ほっかい}海^{どう}道^{ぶつ}産^{さん}が所^{ところ}狭^{せま}しとどこでも同^{おな}じよ^{かん}な感^{かん}じで置^おいてあり、必^{かな}ずア^{いっしょ}ス^いパ^いラ^いが^いり^まし^た。一^{いっしょ}緒^いに行^いったお友^{とも}達^{だち}の^{ひとり}一^{はな}人^{ひと}が話^{はな}して^{いた}こと^を思^{おも}い出^だしました。ア^{のう}ス^かパ^いラ^い農^{いっばん}家^んでは一^{いっばん}般^{ぱん}のお客^{きゃく}さんとは取^{とり}引^{ひき}し^{ない}そ^うです。だ^から注^{ちゆう}文^{もん}して^も手^てに入^{はい}ら^{ない}と

ということです。一箱結構良い値段でした。みっちゃんは（4本一束で、4束が一箱になるんですけど）1箱を買ってくれば1束おまけするよと言われそれに乗かってしまいました。

北海道のラーメン食べてなかったので、搭乗手続きを終えてから空港の中のお店でお昼にラーメンを食べました。みっちゃんはどこへ行ってもラーメンは味噌ラーメンなのでここでも味噌をとってみました。北海道ならではの臭が盛りだくさんでおいしかったです。食べきれるかなと思いましたが全部平らげてしまいました。

もう、搭乗時間が迫っているので大急ぎで飛行機の乗り場まで来ました。障害者は一般の乗客が乗り込む1時間前に乗り込んで降りるときは乗客が全員降りてから降りることになっています。こちらに来る時には飛行機の窓際へ座らせてもらおうと思ったら駄目だったので、帰りは追加料金1100円を出すと広い場所が空いているからという事で1さんがどお？と聞いてくれたのでみっちゃんは追加料金を払って座席の前が広くて自由に動けるところに乗ることが出来たので、窓の外も良く見えるし快適でした。

これは余談ですが、空港備え付けの車イスに乗り換えて移動する時に空港の職員さんがお手伝いをしてくれるのですが、みっちゃんをお婆ちゃん大丈夫？とかそういう言い方をしてみっちゃんの友達みんな気分壊して他の乗客には敬語を使っているのにお婆ちゃんはないだろうとプリプリしながら乗り込みました。

宇都宮に着いたのが結局8時頃でしたので夕飯を途中で食べて帰ってきました。今まであちこち旅行しましたけど今回の旅行は最高に楽しくて思い出深い旅でした。

きかんしこうどくかいじんほしゅうちゅう

機関誌購読会員募集中

自立生活センターとちぎの機関誌（年3回発行）の購読をしてくれる
会員を募集しています。会員として登録してくれた方には、CILとち
ぎの様々なイベントのご案内もいたします。年会費 300円